

せいらんそう

第52号

2022.2



事業所トピックス 牛ヶ谷保育園より (P7掲載)

Contents

- P 2—3 芳香会 研修特集
- P 4 導入機材・ソフトについて
- P 5 エコ・リサイクル委員会の取組をご紹介します
- P 6 外国人就労者と語る会を開催しました
- P 7 事業所トピックス
- P 8 芳香会活動報告
芳香会スケジュール
編集後記



事業所トピックス 結城デイより (P7掲載)



研

集

特

集

個人情報保護推進委員会

研修について



個人情報保護法が平成17年に施行され、芳香会では多数の個人情報を保有していることから法人内に「個人情報保護推進委員会」を発足し、個人情報の管理体制の構築・維持、また職員への個人情報保護に関する研修を行っています。

コロナ禍において開催方法をオンラインに変更し、年に2回の研修を継続しています。1つ目の研修は新規・中途採用職員を対象に行う入門編です。芳香会職員として理解すべき個人情報の基礎を学び、個人情報の取り扱いに留意しながら日々の業務に取り組み意識を身に付けることを目的としています。2つ目の研修は各事業所の個人情報保護推進員等中核職員を対象とした、事業所の個人情報保護の管理体制の確認等を行う研修です。講義だけでなく、グループワークにて各事業所で経験した個人情報の取り扱いに関するヒヤリハットをもとに改善策を検討し、改めて個人情報の取り扱いに関する意識を明確にし、管理体制の見直しを行うことを目的としています。

オンライン化が進み、更に扱われる個人情報が多様多様化していますが、芳香会は個人情報保護法や関係法令を遵守した運営を行っています。(個人情報保護推進委員会 加藤)

第4回障害者福祉セミナー

2021年10月2日(土)10時〜12時茨城県社会福祉事業団様と合同で、「第4回障害者福祉セミナー」を実施しました。開催方法はオンライン(Zoom)で行い、約50名の方が聴講者として参加しました。

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の看護課 智則氏と生活支援課 原 良子氏にご講義いただきました。

講義の内容は「高齢知的障害者の摂食・嚥下と口腔ケア」(智則氏)、「高齢知的障害者のリハビリ的日中活動」(原氏)でした。写真を使って事例紹介をしてくださり、大変わかりやすい内容となりました。

参加者からの感想を紹介いたします。
「現場の生の声が講義内容でしたので、とても興味を持ち楽しく傾聴出来ました。」
「生活上とても大切な食事について、とてもわかりやすい内容の説明でした。ご利用者の下に向けた取り組みの必要性について再認識することができました。」

来年度も皆様の学びのひとつとなるようセミナーの内容を考えていきたいと思っております。是非ご参加ください。
(広報・研修委員会 川田)



第18回実務研究発表会

2021年12月13日(月)16時30分〜18時30分「第18回実務研究発表会」をオンライン(Zoom)にて開催いたしました。芳香会からは3施設、外部法人からは筑西市の征峯会様にご発表いただきました。

発表施設・内容は次の通りです。
1. 青嵐治療育園「新療育園厨房移行に伴う業務改善」職員の働き易さと利用者の食の安全を追求して」
2. 青嵐荘つくし園「多職種連携による摂食嚥下アプローチの実践」
3. 青嵐荘路のとう舎「青嵐荘路のとう舎による日中活動の取り組み」
4. 障害者支援施設ピアしらとり様「利用者様、支援者のよりよい人間関係を目指して」

4題の発表の講評を筑波大学大学院教授安梅 勅江様、筑波大学助教 大村 美保様、芳香会業務執行理事 宇留野 功一の3名よりいただきました。

オンラインではありませんでしたが、芳香会の各事業所職員と征峯会様の職員の皆様とつながり、質問や意見交換も活発に行われ、学びの多い時間となりました。ご講評いただきました2名の先生、外部発表として参加していただきました征峯会様には心よりお礼申し上げます。
(広報・研修委員会 川田)





芳

香

会

福祉サービス苦情解決第三者委員会と 苦情受付体制委員会主催の研修会

苦情受付体制委員会では、苦情解決第三者委員会と法人内研修を年2回ずつ企画・実施しています。



第三者委員会では、芳香会の設置要綱に基づき、苦情解決に社会性や客観性を確保すると共に似たような苦情・ヒヤリハットを繰り返さない為、内容・経過・解決方法等の共有を図っています。また第三者委員の先生方にご指導いただきながら、芳香会の福祉サービス向上に繋がっています。

法人内研修では、主に新任職員を対象とした『芳香会の苦情受付体制と苦情に対する取り組み』をZoomにて開催しました。受講者からは、苦情があれば真摯に受け止め改善に繋げていくことや気付きの視点を持つこと、ルールに沿って解決していく等の学びが見られました。後期には、中堅職員を対象とした『クレーム対応の基本』を計画しています。支援の質を上げ、ご利用者の満足に繋がっていくために、今後も継続していきたいと考えています。(苦情受付体制委員会 結城)



見られました。後期には、中堅職員を対象とした『クレーム対応の基本』を計画しています。支援の質を上げ、ご利用者の満足に繋がっていくために、今後も継続していきたいと考えています。(苦情受付体制委員会 結城)

介護福祉士実務者研修について

2018年にスタートした介護福祉士実務者研修も、今年度で第4回目の講座を修了し、トータル27名の受講生を輩出することができました。



受講生の外国人職員の割合は年々増加し、今年度は7名中4名が外国人職員となりました。高齢者の文化や歴史を理解することが利用者理解にも繋がります。しかし、計画作成時に事例対象者の歴史的背景を、深く理解してもらうことが難しかったように思います。

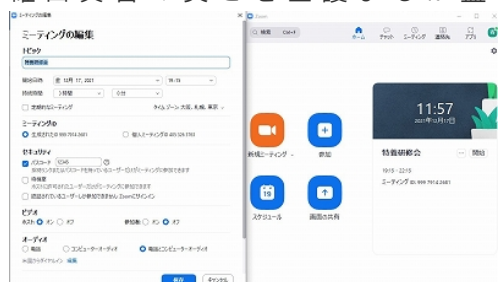
毎回参加していて感じることは、受講生の皆さんのチームワークの良さです。グループワークは和気あいあいと取り組み、また試験になると、お互いに励まし合いながら最後のひとり合格するまで帰らずに見守る等、実務者研修が経験年数の近い職員との絆を深め、切磋琢磨する良い機会になっているのではないかと感じます。

現在福祉の現場では、人材の確保が大変困難な状況にあります。しかし、芳香会職員であれば無料で実務者研修を受講できることは、大きなアピールポイントとなると思います。今後もその一翼を担って行けるよう、講師一丸となってわかりやすい講義を目指していきたいと思えます。(青嵐荘療護園 畑山)



職員研修をリモートで

社会福祉法人の監査では「職員会議が実施されているか。」と問われます。青嵐荘特別養護老人ホームでは、全職員が集まる会議を昼間に開催することが難しく、夜間に実施しています。その為週休や退勤後、自転車出勤する職員への負担があり、出席率も悪く書面で確認する方が多くなっていました。しかし、報告者の話し方や熱量、雰囲気は書面に書き表すことが出来ません。そこで出来る限りリアルタイムで参加出来るようにリモート会議の実施を決めました。時間になると各自が自宅などからZOOMに参加します。



ここまでになるには職員個々のネット環境やデバイス、操作技術など事前の準備が必要です。資料は印刷せずクラウド閲覧で、ペーパーレスや会場準備の削減にもなります。この改善はSDGsにも繋がります。ペーパーレスは「陸の豊かさを守ろう」。学習機会を失わないための方法「質の高い教育をみんなに」。みんなが受けることこの出来る環境は「人や国の不平等をなくそう」。私たちが行う改善が世界活動の一つとして実感すること「働きがいも経済成長も」に繋がると信じたいです。

(青嵐荘特別養護老人ホーム 富張)

～ニュークックチル、再加熱カート導入後の展望～

●ニュークックチルの流れ



芳香会創立50周年記念事業の一環として、芳香会病院青嵐荘療育園建替事業が行われております。上大野地区合同厨房においては、昨今の給食業界の課題と同様に、人手不足の解消と食品の品質・安全性の向上が挙げられています。この課題を解決するために、ニュークックチルシステムを導入することとなり、更には再加熱カートを購入しました。

この調理システムにより事前盛付けが可能となり、これまでのような早朝出勤が緩和され、日勤帯を中心とした業務に変わる事で労働時間の削減が見込まれます。そして、再加熱カートが自動で料理を温めてくれるため適温提供が可能になります。調理スタッフにおける課題を解決し、ご利用者においては適温で喫食できるようになる調理システムと言えます。

現在も本稼働に向けて準備を進めている段階で、ご利用者へ①適温で②安全で衛生的な食事③見た目良く④美味しい食事、そして、⑤ご利用者個々の状態に合わせた食事が提供できるよう、引き続き調理職員と連携しながら働きやすい環境づくりに努めて参ります。

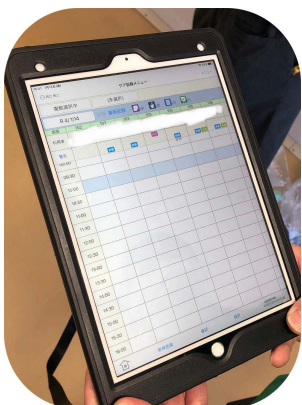
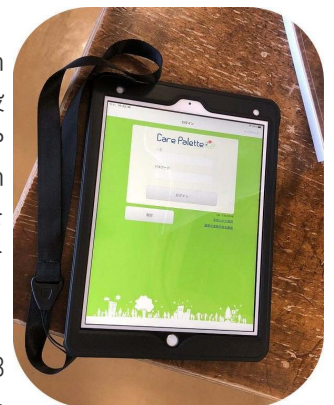
(芳香会病院青嵐荘療育園 丹治)



導入機材・ソフトについて

障害者施設ソフト「ほのぼのmore」の使用を開始して

これまで使用していた福祉の森（障害児・者施設向け総合システム）は、療護園から導入を開始し約16年間使用してきました。長年の使用経験から操作に慣れているが、業務効率化と省力化を推進するためには、ソフトの再考が必要であり、検討を重ねた結果、法人内の障害児・者施設にて新ソフト（ほのぼのmore）を導入することになりました。ほのぼのmoreは、クラウド型であり、共通のデータベースを使用するため、障害児・者施設全体のご利用者管理が可能となりました。また、タブレット使用により、情報確認や支援内容の入力が、いつでもどこでも可能となりました。導入にあたり、ほのぼのmoreを効率的、効果的に運用する為、昨年度よりほのぼのの導入に関わる委員会を立ち上げ、令和3年10月からの本稼働に向け、定期的に会議を開催し、データベースを構築した後は各々の事業所ごとに取り組んできました。



つくし園では、新ソフト導入活用担当者会議を発足し、各課代表が集まり、計画的に導入を進めてきました。令和3年度は、利用者情報管理、請求業務を新ソフトへの移行を完了させると同時に、各セクションの代表職員が操作方法の習得をすすめ、それぞれが担当する日誌等記録業務について、段階的に移行してきました。全職員が操作方法を習得できるよう、周知方法を工夫しながら進めています。その結果、概ね計画通りにほのぼのmoreへの業務移行を行うことができましたので、今後は、個別支援計画関連業務での活用を目指し、利用者支援の充実を図っていきたく思います。

今後も、同時導入を行う他施設との連携を重視しながら、事業所内での連携をより充実させ、業務効率化と省力化を目指していきたく思います。

(青嵐荘つくし園 吉田)

～エコ・リサイクル委員会の取組をご紹介します～

13 気候変動に
具体的な対策を



2施設が古河市「令和3年度みどりのカーテンコンテスト」 団体の部優秀賞を受賞しました！！

気候変動により年々暑さが増す夏…以前から各施設でグリーンカーテンを作ったりと工夫はしていたのですが、せつくなので古河市の「みどりのカーテンコンテスト」に応募しよう！ということで古河市内の施設に参加を呼びかけました。

参加したのは療育園、療護園、つくし園、蔭のとう舎、ひばり保育園の5施設。

途中経過を報告し合いながら応募しました。

その結果・・・

青嵐荘療育園と青嵐荘つくし園が団体の部優秀賞をいただきました。ありがとうございます♪

古河市環境課の方が2施設に訪問され、賞状をいただきました。

来年も張り切って参加したいと思います(^^*)

古河市のHPでも紹介されていますので是非ご覧ください。

(エコ・リサイクル委員 川田)



←古河市HP
「令和3年度みどりのカーテンコンテスト結果について」



[青嵐荘療育園]

アップルゴーヤ(リンゴのような丸い実が成るそうです)と朝顔を植えました。



[青嵐荘つくし園]

ヘチマを育てました。ヘチマの実を乾燥させてたわしにしたそうです。

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



地域の皆様とともにリサイクル。

そして花壇や活動の資源へ・・・

リサイクル活動として空き缶、ペットボトル、段ボールなどを回収しています。

回収した空き缶、ペットボトルは障害者施設、高齢者施設のご利用者が潰す作業をしてからリサイクル業者様へ届けに行っています。

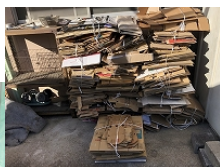
リサイクルで得た利益は、以前は花壇に植栽する花の苗を購入する費用にあてていましたが、現在は植栽活動の補助金をいただいたり苗の寄付をいただく機会が増えています。

そのため、現在はリサイクル活動や花壇の植栽活動で必要な物品(軍手や回収ボックスなど)を購入する費用にあてています。

回収にあたり各施設の職員・ご利用者・ご家族様にご協力をいただいたり、古河市・結城市の保育園、古河中央ロータリークラブの会員様にもご協力をいただいております。

「循環型活動」として始めた取組みが皆様のご協力のもと継続出来ていること、心より感謝申し上げます。

今後も、エコ・リサイクル委員会が中心となり活動を継続していきたいと思っておりますので、ご協力よろしく願っています。(エコ・リサイクル委員 川田)



←皆様にご協力いただき、こんなに沢山集まっています。ありがとうございます♡



外国人就労者と語る会を開催しました

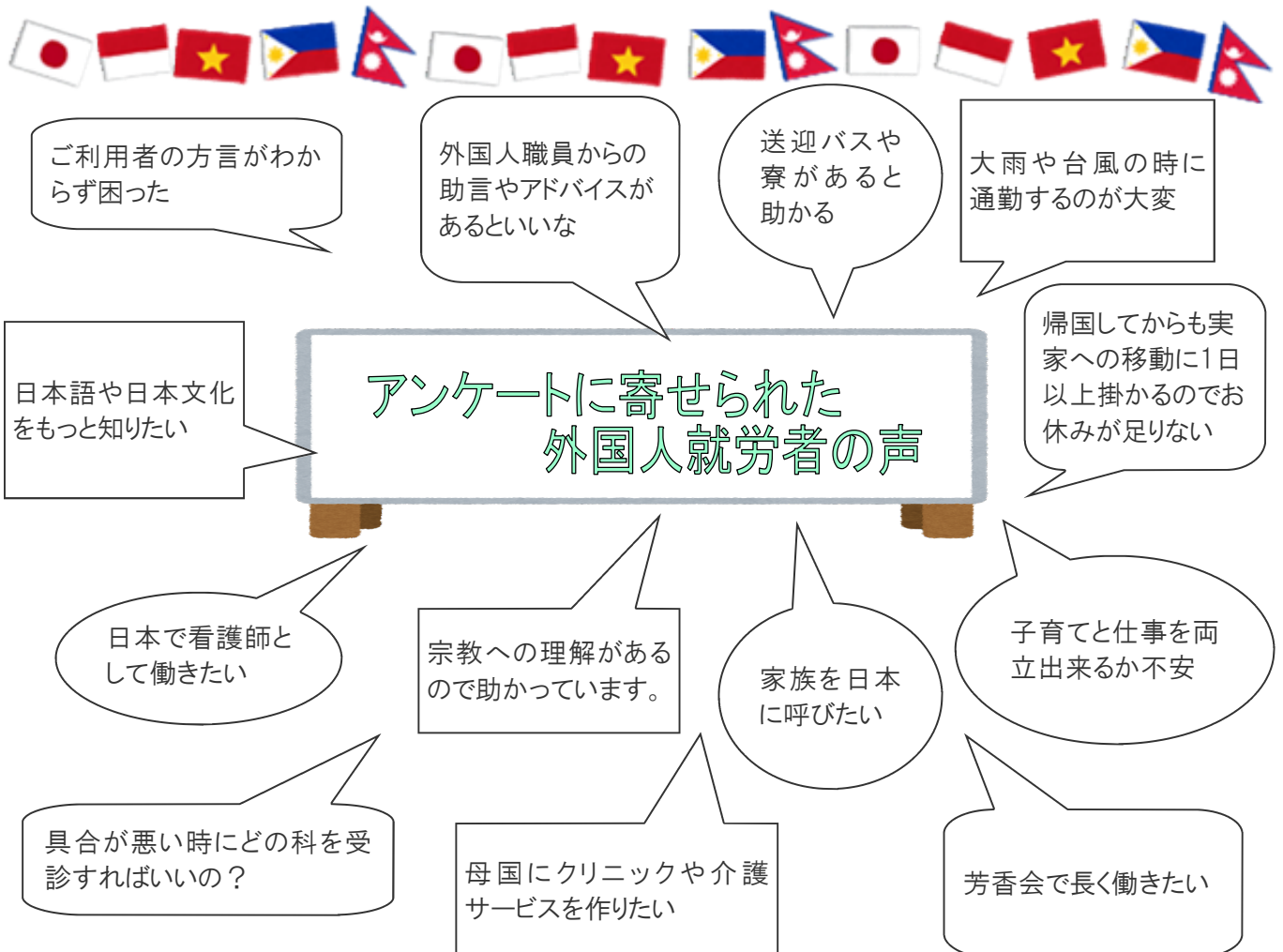
2021年10月27日(水)、「みんなで話し合ってみっぺ 仕事のこと 生活のこと」というテーマで外国人就労者と語る会を開催いたしました。Zoomでの参加となりましたが、コメンテーターとして早稲田大学大学院日本語教育研究科宮崎先生、法人内からは宇留野理事長と宇留野業務執行理事をお招きし、当法人で働く外国人就労者代表6名に仕事やプライベートでの不安や悩みを語っていただきました。



芳香会では現在26名の外国人就労者が働いており、今後もさらに増える予定です。母国から遠く離れた日本で働く外国人職員の皆さんが様々な不安や悩み、ストレスを抱えているだろうことは容易に想像が出来ます。外国人就労者の皆さんの悩みや不安が少しでも解消されストレスから解放されること、法人としても外国人就労者と協働していく上での問題点や改善点を改めて考えるきっかけになることを目的として語る会を開催いたしました。

開催するにあたり外国人就労者の方にはアンケートを実施し、現在抱えている悩みや困ったことなどを事前に調査し集計いたしました。その結果、主に「日本語が難しい」「体調不良の時に辛い」「子育てと仕事の両立」「一時帰国について」、悩みや不安を抱えている職員が多いことがわかりました。この結果をもとに語る会では代表職員に具体的な悩みや意見を伺いました。語る会の様子は各事業所の管理者や職員にも配信され、新たな発見や問題点を見直すきっかけになるとともに、法人や事業所としても果たすべき役割や寄り添い方等を考える良い機会となりました。語る会に参加した外国人就労者からも「直接不安や悩みを聞いてもらえて良かった」「こういった会を今後も開催してほしい」との声が寄せられました。

語る会の中で出された意見や提案をもとに改善や実践が可能なことについては実現に移し、外国人就労者の満足度や帰属性を高め、職場定着へつなげていければと思います。(法人本部 吉金)





『ひろがる活動の輪』

結城デイサービスセンター

2020年度から続く新型コロナウイルスへの対応として開始した個別活動ですが、この活動を1年以上続ける中で、いまでは欠かすことができないものへと成長した活動があります。それが今回紹介する手芸活動です。手芸に興味がある7名程の利用者様による刺し子や刺繍などから始まり、利用者様の誕生日にプレゼントで渡していたタオルに名前の刺繍をしてもらうなど、利用者間での交流が深まるものへと変化していきました。その後は、小物入れなど実用的な作品を次々と作成し、活動を近くで眺めていた方々も徐々に興味を持つようになり、現在では20名近い利用者様が活動に参加しています。個別での活動ですが共通の趣味をわかち合えることで、それぞれの作品を見せ合ったり、やり方を教えたり、教わったり、相談し合ったりと活動を通じて友達となり、その輪がひろがっていきました。この状況を見て、職員にとってもデイサービスが担う役割について改めて見直す良い機会となりました。これからも長く続く活動になっていけるよう職員全体で取り組んでいきたいと思ひます。
(藤本)



『保護者ボランティア』

牛ヶ谷保育園

コロナ禍の中、様々な行事が中止または縮小となってしまいましたが、子どもたちの心や体の発達を保育の中で感じてもらいたいという思いで保護者の方を対象に「バースデーボランティア」を企画させていただきました。内容は、我が子の誕生日に一日保育園で先生をしてもらいながら参観をするという企画で、乳児クラスの保護者の方には、子どもたちに見つからない様に職員に紛れてお掃除をしていただき、保護者の姿を子どもたちに見せないことで、いつもの保育園での姿を見てもらっています。幼児クラスの保護者の方には、朝の会から子どもたちの輪と一緒に入り先生として過ごしていただきます。子どもたちと触れ合いながら、お外で思いっきり遊んだり、絵本の読み聞かせてくれたりと、すっかり職員の一人！です。我が子が特別な日に、お友だちからお祝いをしてもらっている姿、園での日常生活の様子を見ていただく事で子どもたちの成長と一緒に喜び、普段お家では見られない子どもたちの関わり合いの中での思いやりの姿などを見ていただいています。参加された保護者の方からは「お友だちと関わる姿を見て安心しました」「楽しかったですが、先生方のご苦労が良く分かりました」などの言葉もいただいております。今まで行ってきた行事の形を変えながら今後も保護者の方と共に子どもたちの成長を喜びあえる様な企画を考えていきたいと思ひています。(菅)



『クリスマス会を開催して』

芳香会病院青嵐荘療育園

12月16日、クリスマス会を開催しました。本年度もご家族やゲストを招待せず、職員と利用者様のみでの開催となりました。建替え前の療育園で行う最後の行事だった為ご家族をお呼びしたかったのですが、まだまだ新型コロナウイルスの感染が懸念され、お呼びすることが出来ませんでした。利用者様は2年近くご家族と直接お会いすることが出来ない方がほとんどです。窓越し面会などは実施していますが、直接会うことが出来ずにさみしい思いをしているご家族も多いのではないのでしょうか。そんな状況の中、クリスマス会を担当するにあたり、さみしい思いをしていらっしゃるご家族の方々にクリスマス会の当日の写真のみをお渡しするのではなく、普段の生活やクリスマス会の準備の時から利用者様と製作活動を行った写真、クリスマス会の飾り付けの様子も写真にしてお渡しさせていただきました。会えない期間が長くなっており、少しでも写真をご覧になられ、安心してもらえたら幸いです。

またこの企画を実施するにあたり、多くの職員からサポートやアドバイスを頂き、無事終了する事が出来ました。今回の経験を今後にも活かしていきたいです。(長竹)



芳香会活動報告

茨城県地域生活定着支援センターより

古河中央ロータリークラブ様と合同で、衛生用品や不要な日用品を集め、茨城ダルク様へ献品させていただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。

今後もしよろしくお願いいたします。
(表は献品一覧表です。)

| NO. | 物品 | 個数 |
|-----|------------|----|
| 1 | 固形石鹸 | 42 |
| 2 | トイレトペーパー | 10 |
| 3 | 洗剤(リキッド) | 1 |
| 4 | 毛布 | 11 |
| 5 | 敷毛布 | 2 |
| 6 | タオルケット | 5 |
| 7 | 肌掛け | 2 |
| 8 | 敷きパッド | 2 |
| 9 | シーツ | 3 |
| 10 | ブランケット | 1 |
| 11 | ハンドソープ | 1 |
| 12 | 洗濯用洗剤(箱小) | 1 |
| 13 | 洗濯用洗剤(箱大) | 1 |
| 14 | 食器用洗剤 | 1 |
| 15 | 箱ティッシュペーパー | 20 |
| 16 | 洗濯洗剤(箱大) | 2 |
| 17 | お米(10kg) | 14 |

上大野小学校4年生と合同で 花壇の植栽活動を行いました

2021年11月2日(火)上大野小学校4年生13名と芳香会職員16名と合同で花壇の植栽活動を行いました。この活動は今回で22回目となりま

す。花壇は内山街道(県道)沿いにあり、芳香会が道路里親の認証を受けています。
植栽では、オレンジと黄色のピオラの苗約630株を植えました。当日は茨城新聞の記者の方に取材を受け11月9日(月)に掲載されました。生徒さんからは「楽しかった」「こんなに植えたのは初めて。大きく育つて、花を多くの人に見てもらいたい」という声が聞かれました。

植栽した花壇の
写真です。
例年5月頃まで
咲いています☆



移動献血事業を実施しました

2021年11月25日(木)通算第21回目となる移動献血事業を実施いたしました。新型コロナウイルスの影響により、昨年度と同じく法人内職員のみでの実施となりました。当日は上大野地区・結城尾崎地区合わせて16名の職員が献血に協力しました。次年度以降も献血事業を通して地域貢献をしていければと思います。



芳香会スケジュール

- 2月25日 法人内ヒアリング
- 3月5日 理事会
- 3月15日 新任職員・随時採用職員研修会
- 3月19日 評議員会
- 3月29日 令和4年度入社式・辞令交付式
- 5月6日 法人内ヒアリング
- 5月14日 監事ヒアリング
- 5月21日 理事会
- 5月下旬 移動献血事業
6月1日付辞令交付式
- 6月11日 定時評議員会

編集後記

寝る前に足湯をしています。入浴も効果的ですが、足湯の方がゆっくりと体の芯まで温まり、ヒートショックなどのリスクが低いそうです。グツスリと眠れるのでオススメです。
(光)

猫を飼っているのですが、主人がリモートワークになってから以前より擦り寄って来るようになったり、ニャアニャアとよく鳴くようになりました。コロナ禍の猫あるあるなのでしょうか。(笑)(礼)

自宅などで自由に使えるデスクトップ型パソコンの魅力といえば、ノートパソコンよりもパーツの交換や付け加えができる点にあります。例えば、パソコンのケース内に空気を送るファンは一般的には光らないものですが、自分の好みの色で光るものに交換することができます。緑色に光るファンがいいな。
(剛)

先日、渡瀬遊水地を散歩中にキツネを見掛けました。ホンDIGツネというそうで、遊水地で見掛けるのは2回目です。長年遊水地に通っている人もなかなかお目に掛かれないそうです。身近にこんなに豊かな自然環境があることに感謝するとともに、この環境を守っていかねればならないと改めて思いました。(麻)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会
〒306-0201 茨城県古河市上大野698
TEL 0280-97-1027 (代)
FAX 0280-97-1112



※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。